

あゆみのあゆみ

編集・発行：太田あゆみ

〒760 - 0068 高松市松島町 2 丁目 4-12

☎ 087-862-7227 📠 080-6398-4607 ✉ mm_ayumitai@outlook.jp

第 31 歩

誰かの政治から
わたしたちの政治へ

一般質問

高齢者や障がい者の避難…どう変わる？

国のガイドラインの改定に伴い、**高齢者や障がいのある人が、自宅から「指定福祉避難所」に直接避難できるように**なります。

高松市では現在 55 の介護老人福祉施設、障害者施設と協定を結び、受け入れ可能人数は 500 人を見込んでいますが、今回の改定を受けて、これまで作成済みの**個別避難計画（高齢者や障がい者一人一人の状況に合わせた避難計画）の見直しや人員の確保など課題山積**です。

高松市では、これから受け入れ可能な施設と個別避難計画の照合をおこなったり、先進地の事例研究、地域コミュニティ協議会との協議などを通して体制を整えていくことになります。そのため、**実際に自宅から福祉避難所への直接避難が可能になるのは早くとも来年度以降になる見通し**です。

市民が望む新しいお墓へ

樹林型・合葬式墓地の整備を

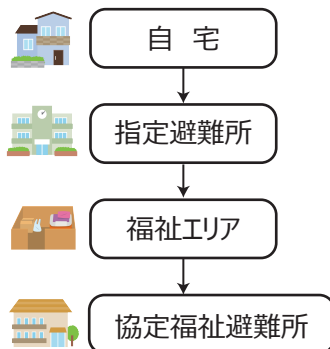
従来型の墓石のお墓は、子孫による管理が困難なことや高価格が原因で、高松市でも余ってきています。一方で、高松市営墓地の平和公園（三谷町）にある納骨堂形式の合葬式墓地は、低価格で管理不要なので希望者が増えています。

「**樹林型合葬式墓地**」とは、墓石の代わりに樹木を墓標とし、**その木々の下に複数の遺骨を埋葬するお墓**です。

平和公園の納骨堂は、20 年経つとお骨を合葬室に移し替えなければいけません。一方、樹林型合葬式墓地は骨壺ではなく特殊な袋に焼骨を入れて土に埋めるため、時間が経つと焼骨は自然に大地に還ります。当然、20 年での移し替えも必要ありません。

このようなことから、都市部を中心に公営の樹林型合葬式墓地の整備が進んでいます。**高松市でもまずは市民のニーズを調査し、整備を進めて欲しい**と考えます。

【これまでの避難】



ここが違ふよ



ポイント！

【これからの避難】



協定福祉避難所…必要に応じて開設

指定福祉避難所…災害レベル 3 以上で常時開設

Q

ガイドラインの改定を受けた高松市の今後の対応は？

A

受入対象者数の把握や、協定福祉避難所から指定福祉避難所への移行が可能な施設の調査など、関係機関と協議し、福祉避難所の受け入れ体制の整備について取り組む。



Q

高松市市営墓地において、樹林墓地を整備するスペースは確保できるのか？

A

高松市内には 30 力所の市営墓地がある。このうち、平和公園と六ツ目公園（国分寺町）には未使用地があり、樹林型墓地を整備することが可能。

Q

新たなアンケートでお墓に関する市民意識の変化やニーズを調査すべきではないか？

A

市民のお墓に対する意識は大きく変化している。今後、改めてアンケート調査を実施し、市民のニーズを的確に把握する。



※2015 年の高松市による調査では、従来型の墓地を望む人が 12.7%しかいないのに対して、**納骨堂や慰霊碑のある合葬式墓地・樹木型の合葬式墓地を希望する人は合わせて 34.5%**でした。6 年経過し、更に意識は変化しているはず！



もうすぐ
衆議院議員選挙

コロナで自宅療養／宿泊療養 投票はどうなるの？

新型コロナウイルスの第5波はようやく落ち着きを取り戻してはいるものの、次の波がいつ来てもおかしくありません。そんな中、もうすぐ衆議院議員選挙。

コロナで自宅療養や宿泊療養になった場合、郵便で投票できるように法改正されました。(特例郵便等投票)しかし、流れがとても複雑なので、利用率が低い！東京都議会議員選挙では当時2,000人の自宅療養者がいましたが、この制度を利用したのはたった80人。そこで、制度を使いやすくするため改善策を提起しました。

高松市選挙管理委員会では、自宅療養・宿泊療養の場合でも(入院は従来の不在者投票で対応)投票できるよう、保健所などと連携しています。選挙に関してお困りのことがあれば、高松市選挙管理委員会までご連絡ください。

Q

一人暮らしの方などは知人に投函を依頼することになっているが、自宅療養者の投函方法について、柔軟に対応してはどうか？

A

個々の状況に応じて必要な援助をおこなっていく(職員が回収するなど)。宿泊施設は県と連携して回収するなど確実な投票実施に対応していく。



投票用紙請求書

外出自粛要請書

投票用紙

投票用封筒



記入済み投票用紙を入れた投票用封筒

※ファスナー付き透明ケースに入れて郵便ポストに投函

高松市選挙管理委員会

自宅療養者の投票の流れ

議案審議

屋島山上交流拠点施設 またまた増額1億円！



前号でもお知らせした通り、屋島山上に建設中の施設ですが、想定外の岩盤の出現による設計変更などにより、当初予定していた建設費約6億円は、今回の増額により総額約15億円にまで膨らみました。

この施設は、特殊な形状をしているため、建設資材もほとんどを県外や海外から取り寄せています。完成後の維持管理費も無視できません。

市は「国の補助金を使ったので、市の負担は軽減できた」としていますが、市民の理解を得られるとは考えられず、予算には反対しました。



市長はこの施設が「市民の誇りになる」と言っているけれど…。

2021.9.23 時点の様子。
現在、屋根部分を工事中。
(高松市 HP より)



賛成

コロナ禍であきらかになった 放課後児童クラブの存在の大切さ



国の要綱が改正され、放課後児童クラブをもっと支援しようという事業が始まりました。市内の放課後児童クラブ25団体に対し、上限144万3千円を補助する予算に賛成。

全国学童保育連絡協議会による調査では、50歳以上の指導員が全体の57%、年収200万円未満の指導員が全体の63%。

コロナ禍において一斉休校になった時、放課後児童クラブは休むことなく子どもを受け入れ、子どもの居場所となり、放課後児童クラブなしに親は働けないという本来の役割がようやく社会的に理解されました。子どもが安全に過ごせる環境と学びの場が確保されることと、必要不可欠な労働＝エッセンシャルワーカーとして現場で働く指導員への保障はもっと充実されるべきであることを強く要望しました。



反対

「庵治ほっとぴあん」休館 → 一転、存続へ… ◆指定管理者の指定と、補正予算の議案です。



1998年に開設された「庵治ほっとぴあん」は、浴室、娯楽室、健康増進器機室などがあります。

2008年から指定管理者制度が導入されましたが、設備の老朽化や昨年7月の指定管理者公募で応募がゼロだったことを踏まえ、高松市は今年度からの休館を決めていました。

ところが、高松市は一転して、ほっとぴあんの継続を決め、今年4月には指定管理者を再公募。庵治地区地域審議会では、特定の企業に指定管理を依頼するような議事録が残されています。

【指定管理者制度】とは…

公共施設を、民間事業者等に管理してもらう制度。
指定管理者の指定は、議会の議決が必要です！



ご大切！

【指定管理者の指定の流れ】



公の施設だからこそ
厳しいチェックがあるんだね！

①指定管理者を公募する

②高松市公の施設指定管理者選定委員会で審査

③議会で議決

右上へ続く

指定管理の過程が不透明

指定管理者の公募は、ホームページや広報紙など幅広い手段を活用することになっていますが、再公募の際には、広報たかまつには「紙面の都合上」という理由で募集記事は掲載されませんでした。応募者がなく再度の公募であったなら、余計に広く募集しなければならなかったはずです。

一連の流れから、指定管理者を特定の企業ありきで進めた出来レースだったのではないかと、または何らかの政治的な判断があったのではないかと、疑念を持たれても仕方ありません。



出産育児一時金の増額は少子化対策になる？

出産育児一時金とは、出産に要する経済的負担を軽減するため1994年に創設された制度です。

1994年創設	30万円	↓ 15年間で 12万円の増額
2006年	35万円	
2009年1月	38万円	
2009年10月	42万円	

増額を繰り返しているにもかかわらず、現在、都市部を中心に支給額では足りず、出産時に多くの持ち出し分があるとされています。

利用者の負担が減ると、サービス提供者は利用料を引き上げやすくなるという構造なので、このままではたちどころが続くだけではないでしょうか。

また、15年間で少子化に歯止めがかかっていないことから、出産育児一時金の増額が少子化対策として有効でないことは明らかです。産科医の減少にも歯止めをかける対策を取り、子育てや教育に公費がきちんと使われる社会の実現こそが少子化対策と考え、増額を求める意見書には反対しました。

長引くコロナ禍で起こる逆転現象、国保料減免制度の見直しを

国民健康保険加入者のうち、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した方に対しては、減免等の特例措置があります。2020年の所得が300万円で2021年の収入が3割下がる見込みなら国保料は全額免除となります。しかし、2020年の所得が0円で2021年の見込みも0円だと「前年より所得が下がった」とされず、特例対象にはならず、収入がなくても国保料のうち均等割などを払う必要があります。収入があるけど全額免除、収入がないのに保険料を払わなければならない。国はこの逆転現象の制度を見直すべきです。

各会派の賛否状況	自民党	公明党	新政同志会	市民フォーラム21	共産党	市民派改革ネット
出産育児一時金増額	○	○	○	○	○	×
ハラスメント禁止条約	×	×	×	○	○	○
国保料減免制度見直し	×	×	×	○	○	○



可決
否決
否決



いつ壊れてもおかしくない公共施設

そもそも、高松市ははっとぴあんには多額の修繕費用がかかるとして休館の予定にしていました。

教育民生常任委員会の審査で修繕費用を尋ねると、ろ過機2,000万円、ボイラー900万円、空調3,000万円の計5,900万円であることが明らかになりましたが、高松市はこれらを修繕する予定はありません。現在も水漏れのため使用禁止の浴槽もあります。

修繕が必要な施設をそのまま運営し続けるのは、あまりに危険です。「安かろう悪かろう」の施設を高松市が抱えていくことには賛成できません。

※なお、同じ建物に入っている社会福祉協議会などは議案の対象ではありません。

ハラスメントの根絶をめざして！

2019年のILO（世界労働機関）総会「労働の世界における暴力とハラスメントを撤廃する条約」は、日本政府を含めて9割超の賛成で採択されました。ところが、日本政府は条約批准には後ろ向きです。



- ①採択＝条約の内容を決定
- ②発効＝この条約はすでに有効！
- ③改革＝国内法の改正など
- ④批准＝国家としての正式同意
- ⑤締結＝条約参加の最終確定

昨年女性活躍・ハラスメント規制法が施行され、大企業にパワハラ相談窓口の設置などが義務付けられたことは一歩前進です。しかし、禁止規定がなく抑止力に欠けるうえ、就活生やインターンなどは被害者として法律に明記されなかったことは大きな問題です。

厚生労働省の調査では、就活中やインターン中の学生の4人に1人がセクハラ被害に遭っており、条約の批准とさらなる国内法の見直しが必要です！



議会のこと、普段の生活のことなど、
なんでも気軽に話せる会です。

12月5日（日） 14:00～16:00 会場：太田あゆみ政策事務所

11月29日(月)～30日(火)



12月6日(月)～21日(火)

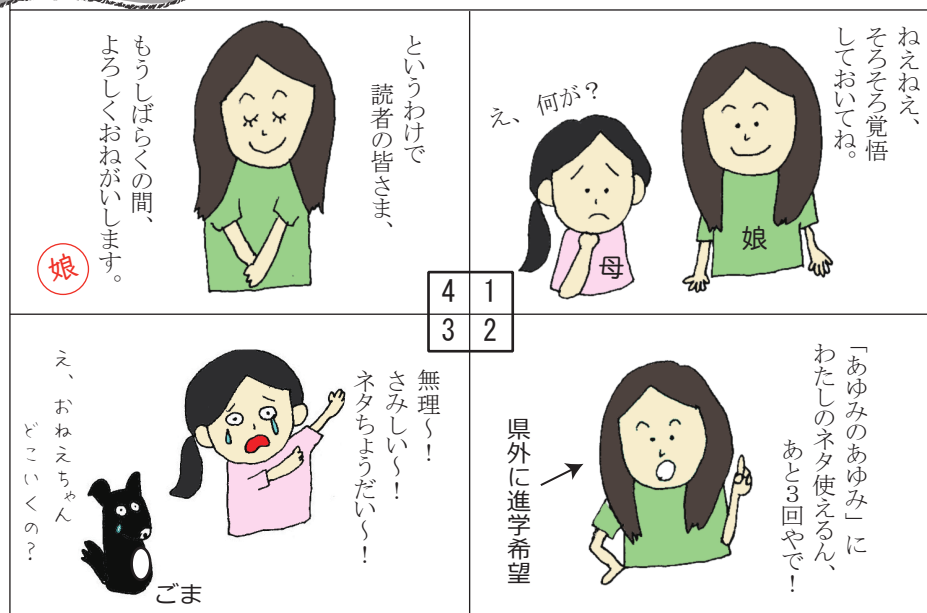
※本会議場の天井工事のため、防災合同庁舎（市役所西側）で開催します

夜の部 1月5日(水) 18:30～ 瓦町 FLAG8階 市民交流スペース 会議室

昼の部 1月9日(日) 13:30～ 生涯学習センターまなびCAN 視聴覚室

「覚悟しておいてね♡」

作・絵：太田あゆみ



7月

議員報酬	608,000 円

源泉所得税	42,290 円
県市民税	45,900 円
国民年金	16,560 円
国民健康保険料	
	123,000 円
議員活動費	88,604 円
あゆみのあゆみ印刷代	
	109,600 円
みんなと未来へあゆみ隊へ	
	100,000 円
太田生活費・その他活動費	
	82,046 円

8月	
議員報酬	608,000 円
源泉所得税	42,290 円
県市民税	45,900 円
国民年金	16,560 円
国民健康保険料	122,900 円
議員活動費	43,820 円
みんなと未来へあゆみ隊へ	50,000 円
太田生活費・その他活動費	286,530 円

議員報酬	608,000 円
源泉所得税	42,290 円
県市民税	45,900 円
国民年金	16,560 円
国民健康保険料	122,900 円
議員活動費	54,914 円
みんなと未来へあゆみ隊へ	100,000 円
太田生活費・その他活動費	225,436 円

●費用弁償（議会出席手当、1日あたり3,000円）は受け取りを拒否しています。

ひとりでも多くの市民のみなさまに議会や市政の情報をお届けするために、勝手ながらポスト投函させていただいています。

また、手配りで配布させていただいておりますので、お手元にタイムリーにお届けできない場合があります。ご了承ください。

★ポスティングの際は、感染症対策をおこない（手袋、マスクの着用、定期的なアルコール消毒等）実施しています。

【7月】

4日 市民派改革ネット議会報告会（昼の部）／
5日 市民派改革ネット議会報告会（夜の部）／
6日 塩江町に関する要望／10日 大阪弁護士会
「精神障害のある人の尊厳の確立を目指して」★
／11日 フラワーデモ in 香川／19日 市民連
合朝街宣／21日 2020 年度決算概要説明／26
、27、28日 あゆみのあゆみ第30歩駅頭配布
（瓦町、片原町、高松築港）

【8月】

3 日 日弁連シンポジウム「行政のデジタル化に
自治体はどう取り組むのか」★ / 5 日～ 学生イ
ンターン受入れ（会派） / 6 日 教育民生常任委
員会 / 17 日 教育民生常任委員会 / 28、29 日
全国政策研究集会★

【9月】

1 日 議会運営委員会（傍聴）／ 5 日 みんなとあゆみのおしゃべり会／ 6 ～ 22 日 高松市議会 9 月定例会／ 6 日 高松第一高等学校校舎棟落成式／ 11 日 若者のための国家デザインコンテスト「未来国会 2021」（傍聴）／ 11 日 フラワーデモ in 香川／ 22 日 高松市議会 ICT プロジェクトチーム／ 24 日 世界気候アクションスタンディング／ 29 日 市民派改革ネット議会報告会（夜の部）

※末尾に★のあるものはオンラインで参加しました

太田あゆみ

(高松市議会議員 2 期目)



 www.ayumirai.com/

 @ayumi step

 @ota_ayumi.tkmt

 www.facebook.com/ayumi.oota



8, 9月に会派でインターン生2名を受け入れました！

▶インターンシップではたくさんのことを経験し、毎日が学びの連続でした。これからの生活で活かしたいです！

(香川大学 法学部 1 年生・春山瑠依さん)

▶議会傍聴では、中継には映らない人の様子やその場の空気を感じることができ、現場に行って市政について考える大切さを学びました。

(香川大学 法学部 1 年生・福田有紗さん)

